

仙台六大学野球

社大球場で始まった。第1日は仙台大が3-2で福祉大を下し1勝目を挙げ、67季ぶり3度目の優勝にあと1勝と迫った。同リーグでプレーオフが行われるのは初めて。

仙台大は1点を追う六回に大坂智哉の2点・三打で勝ち越すと、先発の熊原健人が粘投し、福祉大の反撃をかわした。

プレーオフ第2日は28日、福祉大―東北学院大が行われる。

6回3連打で逆転

回は大坂智哉の2点・星
 打で勝ち越すと、先発の
 熊原健人が粘投し、福祉
 大の反撃をかわした。
 プレーオフ第2日は28
 日、福祉大―東北学院大
 が行われる。

1点を失い、なお一、三塁に走者を背負ったが、内野ゴロで締めた。

自力優勝の可能性が消えて「落ち込んだ」というが、プレーオフを見据えて疲労回復に専念。26

日には約40球投げて「ストライクが取れていた」と好感触を得ていた。学院大戦は29日。「勝って優勝するしかない」。またマウンドに立つ準備に取りかかる。

福祉大・柴崎利大内野手（先制ソロを放つも惜敗）「ホームランを打つて（熊原を）打ち崩せろ」と思ったが、得点圏であと一本が出なかった。学院大戦は点を取れるだけ取って勝負しかない」

6回3連打で逆転

仙台大	00002001	3
福祇大	10000001	2

勝熊原
敗城間

本柴崎①(熊原)

【評】仙台大が競り勝った。〇—1の六回、志田、奈良崎、大坂の3連続短長打で2点奪つて逆転。九回は1死満塁から内野ゴロの間に1点を加えた。熊原は粘りの投球で2失点完投。福祉大は柴崎のソロ本塁打で先制し、九回には楠本の適時打で1点差に詰め寄つた。

初回に柴崎に先制ソロを浴びたが「狙った内角に投げられていた」と気にせず、140ギタ後半の直球を主体に攻めの投球を続けた。六回1死満塁は三邪飛、三振で後続を断ち、九回は2死から

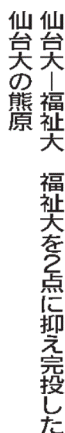
フリーオフ結果と日程

27日 仙台大3—2 福祉大
28日 福祉大—学院大
29日 学院大—仙台大

プレーオフ結果と日程

仙台大3—2福祉大

29日	学院大—仙台大
28日	福祉大—学院大



仙大台	安打	点
志良	111	002
松鶴	444	000
十藤	223	001
内小郷	110	000
加藤	003	000
藤井	444	010
球振	730	637
福社大藤	安打	点
佐佐木	222	110
楠宮	445	130
石裏	543	000
藤	223	000
浅中	231	000
岸	133	000
鈴木	133	000
球振	136	102
佐藤	113	361
藤原	003	000
楠田	大坂庄司	
石田	安打	点
手回	9	216
多野	5	151
三野	3	261
城波	2	1